

地球温暖化問題に関する県民アンケート結果

調査目的：県では令和3年3月に策定した「第2次長崎県地球温暖化（気候変動）対策実行計画」を令和7年度に見直すこととしています。このアンケートは、地球温暖化に関する県民意識を調査し、計画に反映することを目的に行うものです。

調査期間： 令和7年8月25日～9月12日（19日間）

調査対象： ながさきWEB県政アンケート全モニター（345名）

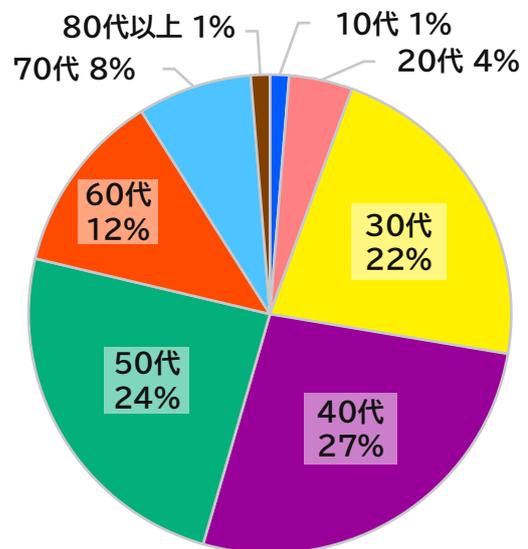
回答状況： 回答者235名（回答率68.1%）

調査担当課： 県民生活環境部 地域環境課

■回答者の属性

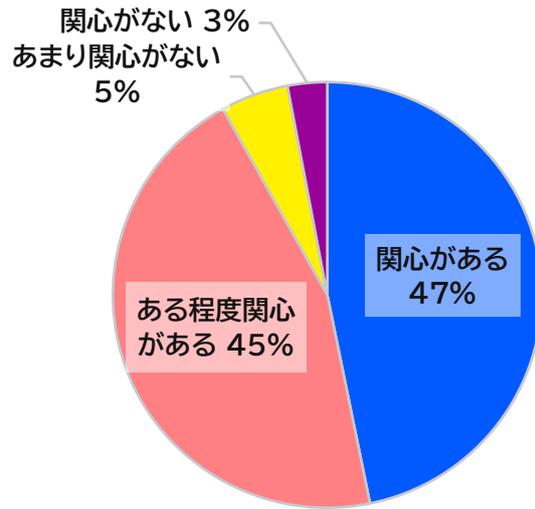
【年齢構成比率】

年齢	人数	構成比
10代	3	1%
20代	10	4%
30代	52	22%
40代	63	27%
50代	57	24%
60代	29	12%
70代	18	8%
80代以上	3	1%
合計	235	100%



問1：あなたは、地球温暖化問題について関心がありますか。(1つ選択)

選択肢	回答	構成比
関心がある	110	47%
ある程度関心がある	106	45%
あまり関心がない	12	5%
関心がない	7	3%
合計	235	100%

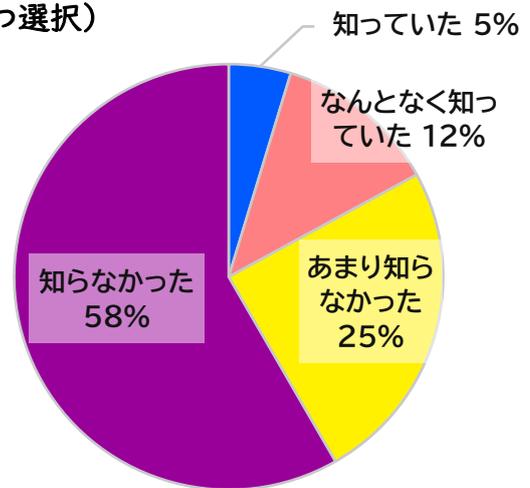


問2：あなたは、「デコ活」を知っていますか。(1つ選択)

(補足説明)

「デコ活」とは「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称として2023年に環境省が決定したものです。

選択肢	回答	構成比
知っていた	11	5%
なんとなく知っていた	29	12%
あまり知らなかった	58	25%
知らなかった	137	58%
合計	235	100%



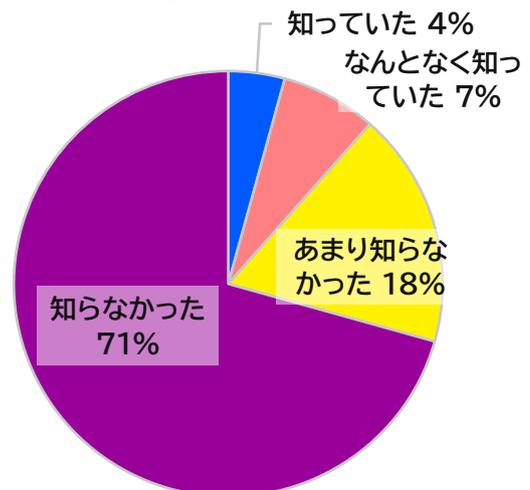
問3：あなたは、「ながさきデコ活 ゼロカーボンアクション12」を知っていますか。

(1つ選択)

(補足説明)

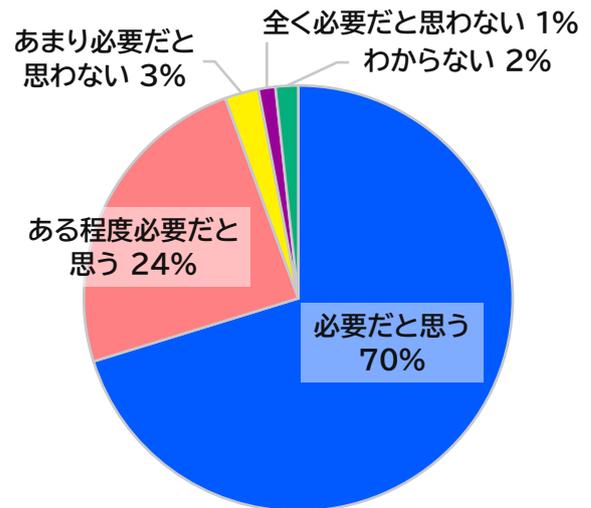
長崎県では、今すぐ取り組める地球温暖化対策につながる行動(アクション)を「ながさきデコ活 ゼロカーボンアクション12」として、事業者と協力して県民の皆様への呼びかける活動を2024年から開始しました。

選択肢	回答	構成比
知っていた	10	4%
なんとなく知っていた	17	7%
あまり知らなかった	42	18%
知らなかった	166	71%
合計	235	100%



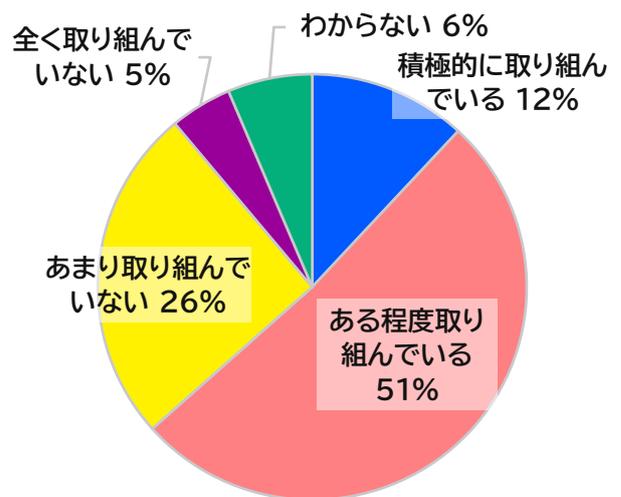
問4：あなたは、地球温暖化対策は必要だと思いますか。(1つ選択)

選択肢	回答	構成比
必要だと思う	165	70%
ある程度必要だと思う	57	24%
あまり必要だと思わない	6	3%
全く必要だと思わない	3	1%
わからない	4	2%
合計	235	100%



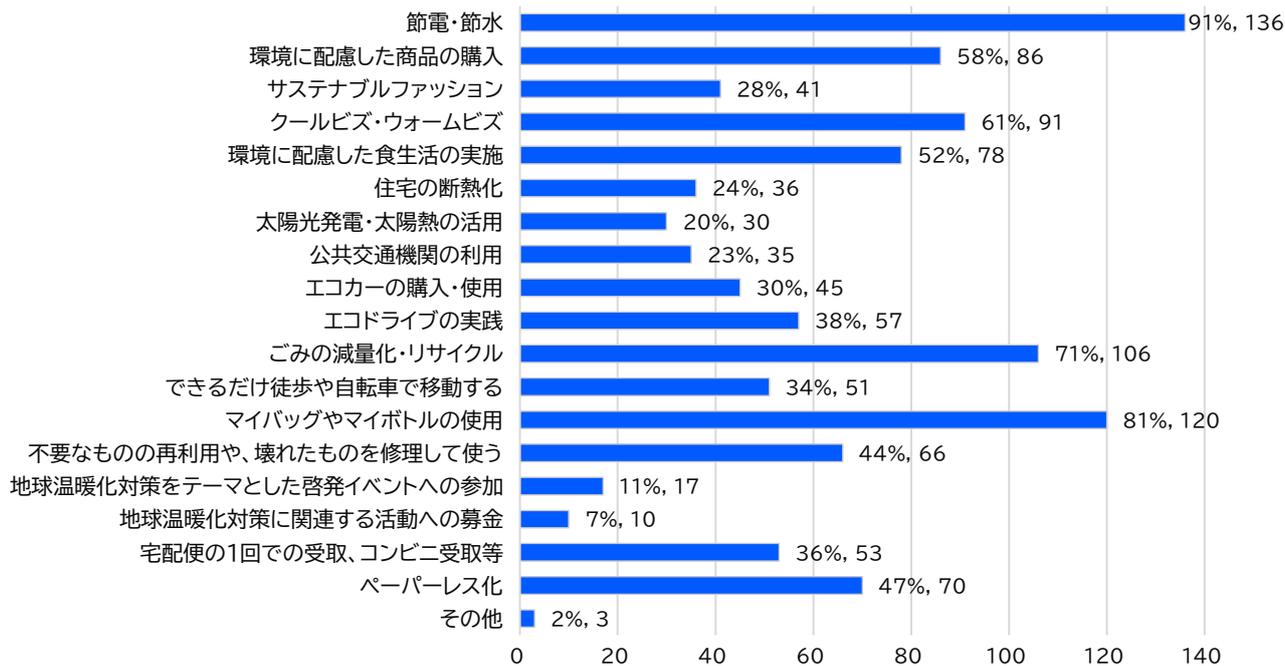
問5：あなたは、現在、地球温暖化対策に取り組んでいますか。(1つ選択)

選択肢	回答	構成比
積極的に取り組んでいる	28	12%
ある程度取り組んでいる	121	51%
あまり取り組んでいない	60	26%
全く取り組んでいない	11	5%
わからない	15	6%
合計	235	100%



問6：あなたが普段から行っている地球温暖化対策を選択してください。（複数選択）

（問5で「積極的に取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」と回答した149名が回答）



選択肢	回答	割合※
節電・節水	136	91%
環境に配慮した商品の購入（詰替商品、簡易包装製品、省エネ型家電、エコマーク商品など）	86	58%
サステナブルファッション（長く着られる服を選ぶ、製造時の環境負荷が低い服を選ぶなど）	41	28%
クールビズ・ウォームビズ（夏場の軽装、冬場の厚着などによる空調負荷の低減など）	91	61%
環境に配慮した食生活の実施（食材の地産地消、エコクッキング、食品ロス削減、てまえどり、食べ残しをしないなど）	78	52%
住宅の断熱化（二重窓や断熱材などを活用し無駄な熱の出入りを減らすなど）	36	24%
太陽光発電・太陽熱の活用	30	20%
公共交通機関の利用	35	23%
エコカーの購入・使用	45	30%
エコドライブの実践（ふんわりアクセル、アイドリングの削減など）	57	38%
ごみの減量化・リサイクル（ごみの分別・堆肥化、紙パックや食品トレイの回収など）	106	71%
できるだけ徒歩や自転車で移動する	51	34%
マイバッグやマイボトルの使用	120	81%
不要なものを再利用（リユースショップ、フリマアプリ）したり、壊れたものを修理して長く使う	66	44%
地球温暖化対策をテーマとした啓発イベントへの参加	17	11%
地球温暖化対策に関連する活動への募金（緑の募金、環境保全団体への寄付など）	10	7%
宅配便の1回での受取、コンビニ受取、宅配ボックスでの受取	53	36%
ペーパーレス化（料金明細書等の電子化）	70	47%
その他：（自由記載）	3	2%

<その他の主な回答>

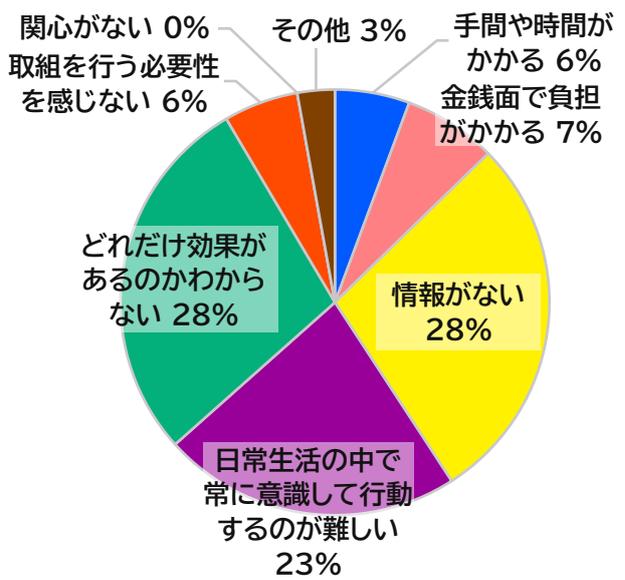
※回答者149名に対する割合

- ・電子書籍の利用
- ・外壁、塀などへのグリーンカーテンの設置

問7：地球温暖化対策に取り組んでいない理由として、最も当てはまるものを選択してください。（1つ選択）

（問5で「全く取り組んでいない」、「あまり取り組んでいない」と回答した71名が回答）

選択肢	回答	構成比
手間や時間がかかる	4	6%
金銭面で負担がかかる	5	7%
情報がない（実施したい、又は、実施できる取組が見つからない）	20	28%
日常生活の中で常に意識して行動するのが難しい	16	23%
どれだけ効果があるのかわからない	20	28%
取組を行う必要性を感じない	4	6%
関心がない	0	0%
その他：（自由記載）	2	3%
合計	71	100%



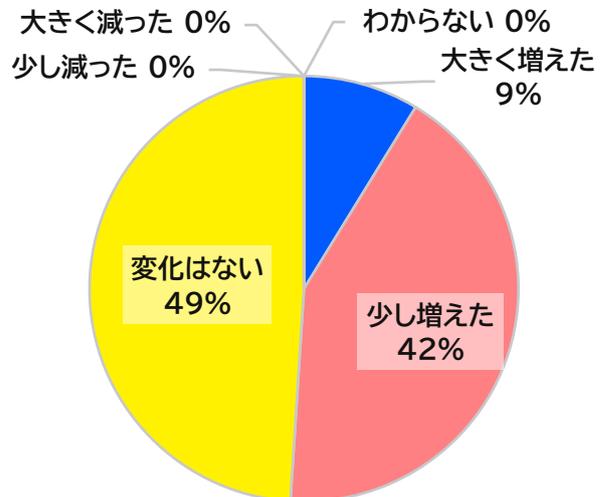
<その他の主な回答>

- ・現状の温暖化対策には意味がない

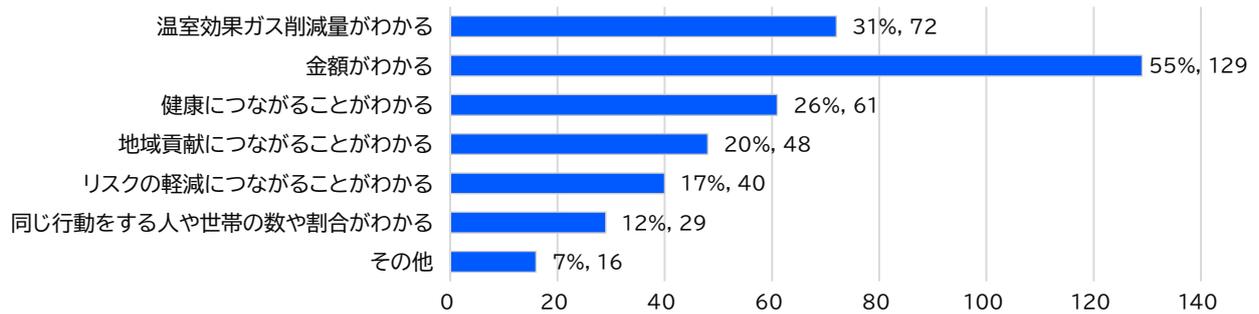
問8：この1年で、地球温暖化対策に対するあなたの取組に変化はありましたか。（1つ選択）

（問5で「積極的に取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」と回答した149名が回答）

選択肢	回答	構成比
大きく増えた	13	9%
少し増えた	63	42%
変化はない	73	49%
少し減った	0	0%
大きく減った	0	0%
わからない	0	0%
合計	149	100%



問9：あなたはどのような情報に触れたときに、地球温暖化対策に取り組みたいと思いますか。（最大2つ選択）



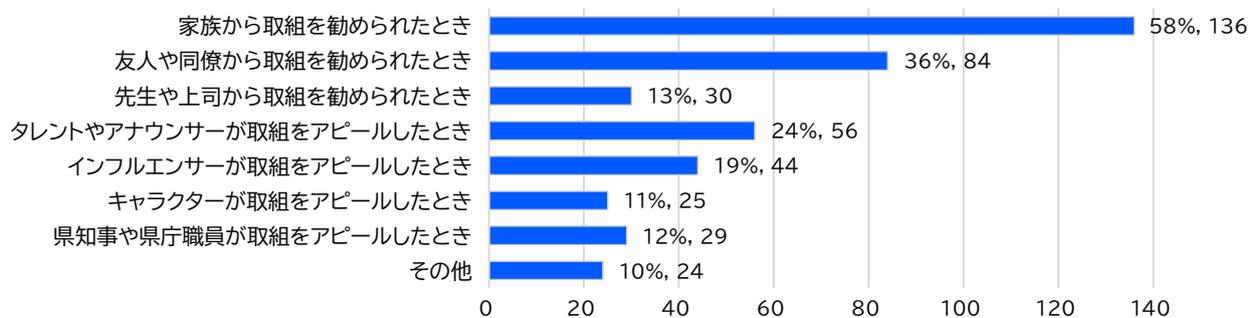
選択肢	回答	割合※
温室効果ガス削減量がわかる（例：テレビをつける時間を1日1時間減らすと年間12.4kgのCO ₂ 削減）	72	31%
金額がわかる（例：お湯を出す時間を1日1分短くすると年間3,200円お得）	129	55%
健康につながるかわかる（例：自転車や徒歩での移動で運動量アップ！）	61	26%
地域貢献につながるかわかる（例：地産地消で地域経済に貢献）	48	20%
リスクの軽減につながるかわかる（例：住宅の断熱化で熱中症予防）	40	17%
同じ行動をする人や世帯の数や割合がわかる（例：84%の県民が節水・節電に取り組んでいる）	29	12%
その他：（自由記載）	16	7%

<その他の主な回答>

※回答者 235 名に対する割合

- ・再生可能エネルギーに関する報道
- ・災害や異常気象に関する報道
- ・藻場の減少を知ったとき
- ・仕事で地球温暖化に関わったとき
- ・取り組みたくない

問10：あなたは、誰から取組を勧められたときに、地球温暖化対策に取り組みたいと思いますか。（最大3つ選択）



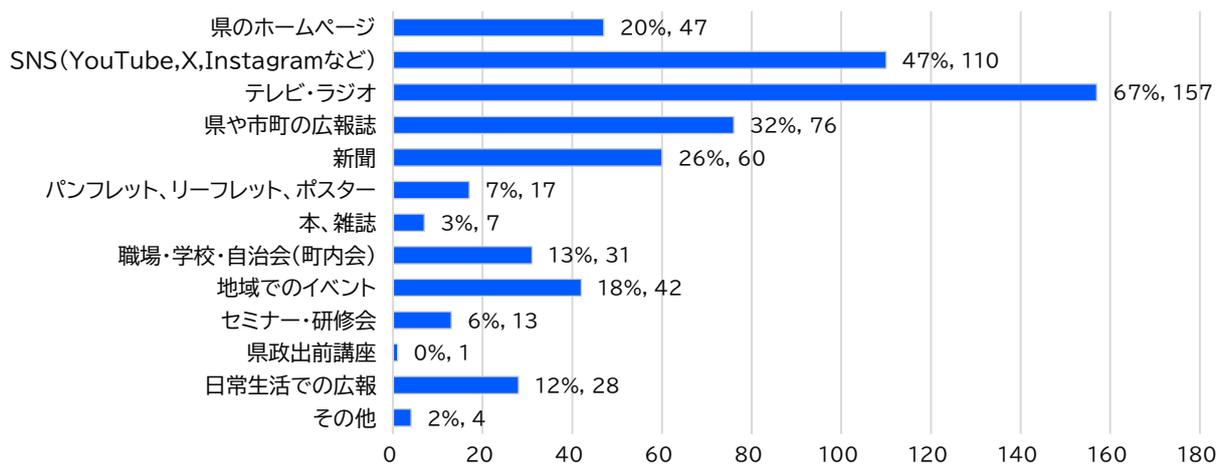
選択肢	回答	割合※
家族から取組を勧められたとき	136	58%
友人や同僚から取組を勧められたとき	84	36%
先生や上司から取組を勧められたとき	30	13%
タレントやアナウンサー（テレビなどで活躍している人）が取組をアピールしたとき	56	24%
インフルエンサー（SNSなどで活躍している人）が取組をアピールしたとき	44	19%
キャラクター（にゃーが、がんばくんらんばちゃん、デンリュウなど）が取組をアピールしたとき	25	11%
県知事や県庁職員が取組をアピールしたとき	29	12%
その他：（自由記載）	24	10%

<その他の主な回答>

※回答者 235 名に対する割合

- ・他人や周囲の状況に左右されない（取組は自発的なものである）
- ・国を挙げての取組として勧められたとき
- ・有識者や専門家などから根拠をもって説明をうけたとき

問 1 1 : 国や県の取組、地球温暖化対策を多くの人に認識してもらうために有効と思う媒体や機会は何ですか。(最大3つ選択)



選択肢	回答	割合※
県のホームページ	47	20%
SNS (YouTube, X, Instagram など)	110	47%
テレビ・ラジオ	157	67%
県や市町の広報誌	76	32%
新聞	60	26%
パンフレット、リーフレット、ポスター	17	7%
その他：(自由記載)	4	2%

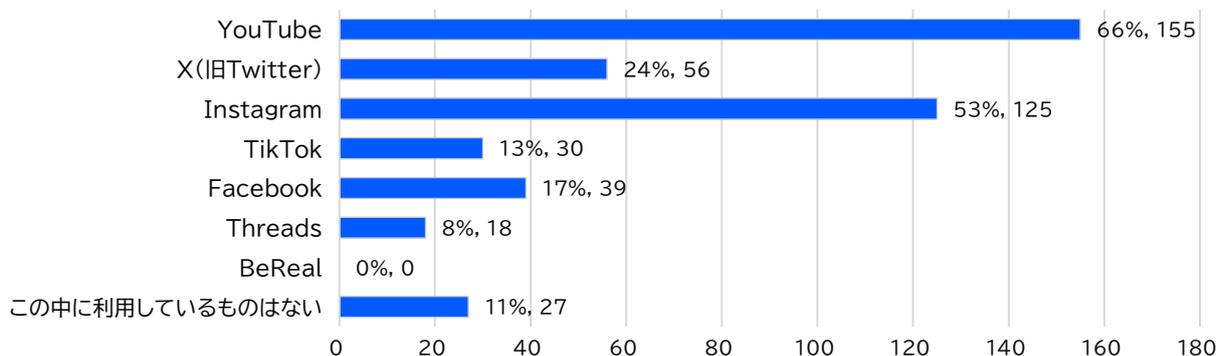
選択肢	回答	割合※
本、雑誌	7	3%
職場・学校・自治会(町内会)	31	13%
地域でのイベント	42	18%
セミナー・研修会	13	6%
県政出前講座	1	0%
日常生活での広報(スーパーや公共交通機関での案内放送など)	28	12%

<その他の主な回答>

- ・家族が揃って目にするもの
- ・広める必要が無い

※回答者 235 名に対する割合

問 1 2 : あなたがよく利用するサービス、アプリはどれですか。(最大3つ選択)

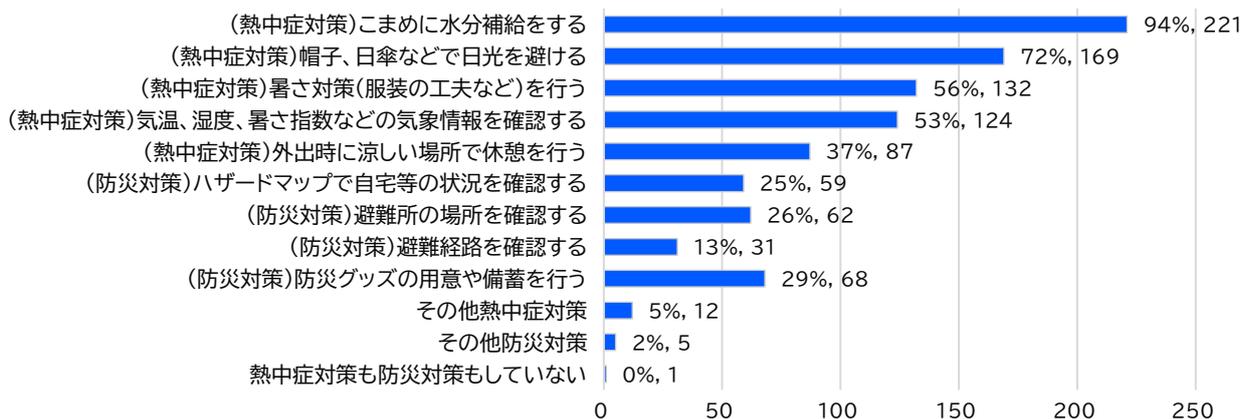


選択肢	回答	割合※
YouTube	155	66%
X (旧 Twitter)	56	24%
Instagram	125	53%
TikTok	30	13%

選択肢	回答	割合※
Facebook	39	17%
Threads	18	8%
BeReal	0	0%
この中に利用しているものはない	27	11%

※回答者 235 名に対する割合

問13：あなたが日常生活の中で取り組んでいる項目を選択してください。（複数選択）



選択肢	回答	割合※	選択肢	回答	割合※
(熱中症対策)こまめに水分補給をする	221	94%	(防災対策)ハザードマップで自宅や学校、職場の状況を確認する	59	25%
(熱中症対策)帽子、日傘などで日光を避ける	169	72%	(防災対策)避難所の場所を確認する	62	26%
(熱中症対策)暑さ対策(服装を工夫する、携帯扇風機、ネッククーラー、アイスリングを使うなど)を行う	132	56%	(防災対策)避難経路を確認する	31	13%
(熱中症対策)気温、湿度、暑さ指数などの気象情報を確認する	124	53%	(防災対策)防災グッズの用意や備蓄を行う(非常持ち出し袋、水、食糧、LEDランタン、モバイルバッテリー)	68	29%
(熱中症対策)外出時に涼しい場所(商業施設、飲食店、市町が指定したクーリングシェルター)で休憩を行う	87	37%	その他防災対策:(自由記載)	5	2%
その他熱中症対策:(自由記載)	12	5%	熱中症対策も防災対策もしていない	1	0%

<その他の主な回答>

※回答者 235 名に対する割合

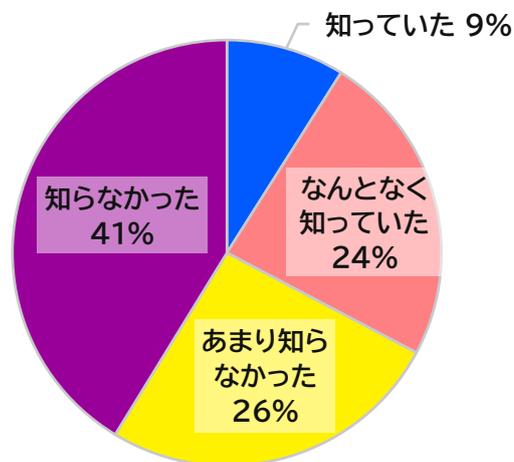
- ・(熱中症対策)適切なエアコン利用
- ・(熱中症対策)身体を暑さに慣らす(暑熱順化)
- ・(熱中症対策)食生活や生活習慣を正す
- ・(防災対策)防災関係のイベントや学習会に参加
- ・(防災対策)家族の避難先の把握
- ・(防災対策)離れて暮らす家族へ気象情報を教える

問14：前問の選択肢のような行動が、気候変動への「適応策」と呼ばれることを知っていますか。（1つ選択）

(補足説明)

気候変動により起こる気温上昇や異常気象への対策を「適応策」と言います。個人でできる取組として熱中症対策や防災対策があります。

選択肢	回答	構成比
知っていた	21	9%
なんとなく知っていた	56	24%
あまり知らなかった	61	26%
知らなかった	97	41%
合計	235	100%



今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。